



POCO a POCO

(ポコ・ア・ポコ)

基本理念

安心できる、心暖まる医療

1. 私たちは誠実で親切な心をもって医療に従事します
2. 私たちは人権を尊重した良質な医療を提供します
3. 私たちは地域精神医療と地域ケアを実践していきます

POCO a POCO (ポコ・ア・ポコ) とは…

ポコ・ア・ポコとは少しずつという意味があり、何事も少しずつ、徐々に良くなっていければなどの思いを込めてみました。

発行人：塚崎 稔 発行所：長崎県長崎市布巻町165-1
TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588

<http://www.sanwa.or.jp>

印刷：昭英印刷有限公司 長崎市平野町13-13 TEL 095-844-0231

開院15年目を迎える三和中央病院をふり返って



当院は今年（2016年）で開設15年目を迎えます。5年前に「開院10周年を迎えた現在、思うこと ～三和中央病院のこれから～」と題して、当院の今後の方向性・目標をお伝えいたしました。1番目には、日本の精神医療が地域医療へ加速していくなかで、退院した患者さんを地域で支えていく仕組みを充実させていくこと、2番目に、そのために地域との連携がもっとも大切であること、3番目に、精神科看護・医療を充実させていくことなどです。

1番目の目標は、2012年4月に「グループホーム・ハートハウスさんわ」を、さらに2015年に「グループホーム・ほたる」をそれぞれ開設しました。これにより、退院支援室の職員が療養病棟の長期入院患者さんの社会復帰を円滑に支援することができました。また、在宅精神障害者の生活を他職種で支えていく国のモデル事業「アウトリーチ推進事業」に2012年から2年間参加しました。この事業への参加は、当院の訪問看護のスキル向上に役だったと思います。

2番目の目標は、それまで院内患者さん、職員中心であった病院祭りを、「地域交流祭り」として、地域の住民や自治会の皆さんへ開放したことです。さらに、当院に隣接して流れる河川の清掃作業に自治会の方々とともにボランティア活動にも参加しました。この川は、地域の皆さんが鮎やホタルの生息地として大切に守ってこられたそうです。これをきっかけに、自治会の方々から認知症予防検診も依頼されるようになりました。

3番目は、治療抵抗性統合失調症治療薬「クロザリル」の使用を2012年4月から開始しました。現在では、外来患者さんにも使用できるようになりました。2013年5月からは、サテライトクリニックである「さんクリニック」を市内中心部に開設し、主に児童思春期外来を中心に診療をおこない、ついで認知症専門外来も開設しました。さらに、精神科リハビリテーションの充実として、デイケアの拡充、訪問看護の充実を行いました。とくにデイケア室は、病床削減した空き病棟を改築し、多様なプログラム（心理教育、就労支援、認知行動療法など）が可能となりました。患者さんへの介護面では、それまで看護補助と呼ばれていた職種を「ケアワーカー」に改め、介護の中心的専門職として組織のなかに位置づけました。近年、超高齢化社会において、病気を治す（キュア）ためだけの医療から、病人を癒す（ケア）ことへの関心が高まってきています。私は当院の中で、このケアする職種としてのケアワーカーの役割がとて大切であると認識しています。

最後に、これからの目標（5カ年計画）ですが、まず患者さんの高齢化や認知症対策として既存の病棟の再編と機能分化を推進していきたいと考えています。国が想定する地域医療構想のなかでの精神科病院の果たす役割がこれから重要になってくるでしょう。つぎに、院内業務の効率化、とくに電子カルテをめざした院内IT化を発展させていきます。これで他職種、他部署の連携が効率よくなることを期待しています。そして、外来機能の充実です。外来新患受診者数を増やしていくことはデイケア、訪問看護、入院数の増加に連結します。

これらの目標を達成していくには、まずは私たちの意識改革から行わなければなりません。どうぞこれからの5年間も職員皆様のご協力をお願い申し上げます。

三和中央病院院長 塚崎 稔



地域交流

大川をきれいに



11月28日に「大川佐賀里の会」の呼びかけによる大川大清掃に参加しました。冷たい風の吹く中、地域の方々や自治会等多数の方が参加し、草木の生い茂った大川を明るい大川へとよみがえらせました。川原や歩道の草木を刈り、また、水の中でのゴミ拾いなど…、ボランティア活動に参加された皆様、本当にお疲れ様でした。



Before
川原は草木が茂り…



黙々と作業中



After
すっきりになりました!!

学会報告

第68回
九州精神神経学会

第61回
九州精神医療学会



<発表内容>

- あなたは患者さんの心を見て接していますか？
～病棟スタッフの医療接遇に対する意識向上を目指して～
- 長期入院患者の退院支援を振り返って
～幻聴・妄想が活発な患者の社会復帰へのアプローチ～
- 退院の継続と外来OT
～症例とのかかわりを通して～
- 63回の入退院を繰り返す患者への関わり
退院前訪問を通しての取り組み
- 心理教育への参加がもたらした効果と課題

学会に参加して…

11/20第61回九州精神医療学会に参加してきました。南5病棟は「長期入院患者の退院支援」について発表してきました。他病院の発表にも退院支援がテーマになっているものが多く、私達を感じた支援の難しさや課題が同じようにあることが分かりました。また、さまざまな支援のあり方も学ぶことが出来ました。今後の退院支援に生かしていきたいと考えます。

南5病棟 中山 絵夢





**2015年も輝きました！！
当院のクリスマスのシンボル**

ここにツリー発見！！

毎年恒例となったクリスマスツリー。このツリーどこにあるかというところ…

玄関の屋根に作っているのです。デイケア利用者様とリハビリ部スタッフが力を合わせて手作りしています。

研修会報告

かかりつけ医と精神科医のうつ病ネットワーク研修会



長崎県医師会主催の標記研修会が平成27年11月16日に、長崎市内のホテルで開催されました。この研修会は、自殺予防の対策としてかかりつけ医を受診する早期のうつ病者に対して、的確に診断し治療に結びつけるために、かかりつけ医と精神科医が良好な治療連携を築くことを目的としています。

その講師として、当院の川瀬健一郎副院長が「うつ病の診断と治療」と題してうつ病の診断や治療についての症例を呈示し講演をおこないました。

南 5 病 棟



当病棟は精神療養病棟（閉鎖病棟）ですが、高齢の患者様や身体的介助が必要な患者様が多く入院しています。病棟スタッフは、精神的な援助やQOLの低下を防ぐため作業療法の参加を促したり、生活指導を行ったりしています。また、少数の患者様ですが、退院に向けて多職種（医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士など）が関わり退院支援を行っています。

部署紹介

診療部レントゲン



診療部放射線科は診療放射線技師2名で業務にあたっています。業務内容として、X線検査・CT検査があります。

X線検査は、X線が人体を透過する事を利用して、画像化しています。CT検査は、X線が人体を透過し、その透過度をコンピューターで計算し画像化しています。

当院では患者様を検査する際、原則として看護師に付き添ってもらい検査に臨んで頂きます。付き添ってもらう事で、患者様を、安心かつ安全に検査できる態勢になっています。

「グループハウスほたる」が9月にオープンしました!!

地域での社会復帰を目指し、精神障がい者の方が共同生活を送る支援施設です。当院のデイケアに通いながら、世話人のもとで自立した生活を送ります。蛍のように温かなあかりを灯す施設にしたいとの願いから「グループホームほたる」と命名されました。



<受けられるサービス>

- ① 日常生活援助（食事の世話・服薬や衛生面の指導、援助）
- ② 生活相談（金銭出納や日常生活に関すること等）
- ③ 行政関係、その他手続き等の助言や相談

<施設概要>

所在地：長崎市
 共有施設：食堂・居間・台所・浴室・洗面所
 トイレ・洗濯室
 個室：室（平均10.57㎡）

<利用料金>

室料：月額30,000円
 共益費：月額12,000円
 食費：実費（朝食のみ200円）

<問い合わせ>

住所：長崎市布巻町624-1
 電話：095-895-5550



当院でe-エクササイズを指導されている松浦先生が本を出版されました

『脳と心の介護予防フィットネス』は心身ともに健康な人から脳や心のパワーの衰えが気になる方まで、「認知症とは？うつとは？」その詳しい説明と、予防の為に運動プログラムが幅広い年齢と機能の方々に対応できるプログラムとして紹介されています。三和中央病院でも取り



入れているメディカルフィットネス「e-エクササイズ」も認知機能向上プログラムとして紹介されています。必見です！



e-エクササイズ代表 松浦 亜紀子

編集後記

開院15年目を12月に迎え、新しい年もスタートをきりました。広報委員の面々も日々の通常業務の傍ら、何か見聞きすれば、「広報誌掲載!!」と熱い思いを胸に業務に励んであります。今年も、皆様に、恋い焦がれるような広報誌を作っていこうと、メンバー同張り切っております。ご協力よろしくをお願いします。

〈広報スタッフ一同〉

○三和中央病院ホームページでは、新着情報・学会報告・今後の予定などリアルタイムで更新しています。

詳しくはこちらまで→ <http://www.sanwa.or.jp>

三和中央病院

検索



医療法人 清潮会 三和中央病院
 診療科目：精神科・心療内科・内科・歯科
 〒851-0494 長崎県長崎市布巻町165-1
 TEL 095-898-7511・FAX 095-898-7588 E-mail: info@sanwa.or.jp

グループホーム ハートハウスさんわ
 〒851-0403 長崎県長崎市布巻町72-1
 TEL 095-892-8780・FAX 095-892-8780

医療法人 清潮会 さんクリニック
 診療科目：心療内科・精神科
 〒850-0842 長崎市新地町8-16 ミナトパークビル4階
 TEL 095-895-8160・FAX 095-895-8161 <http://www.sanwa.or.jp/sanclinic/index.html>